

2018年3月24日（土） 東京・中野サンプラザ

## 診療・介護報酬ダブル改定は、こうなった

～大改革のツボを、患者・住民のために徹底解説～

患者の声協議会 第44回勉強会のご案内

超高齢化社会が本格到来する2025年に向けて、医療・介護の制度改革を進めるラストチャンスとされる2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定。このほど、その内容の詳細が明らかになりました。ラストチャンスの危機感から、決定過程ではこれまでには見られない力学も働き、今までにない斬新な仕組みも盛り込まれました。

だれがどのように主導したのか？ どんな攻防があったのか？ どんな新手が打たれたのか？ 急性期医療、回復期の充実、医療と介護の連携や地域包括ケアの推進などでは、どんな方向付けがなされたのか？

患者・住民が受ける医療（介護）のサービスの内容に大きな影響を与える報酬制度の改革について、私たちはよく理解しておきたいものです。さらには、保険の加入者（資金提供者）として、また納税者として、医療・介護費の資金配分の動向をしっかりと把握しておくことも必要です。

改定の内容が決まった直後のタイミングで、有識者とジャーナリストの診療報酬解説の第一人者をお迎えして、改定の概要、意義、ポイントを、分かり易く噛み砕いて解説していただきます。質疑応答・ディスカッションの時間も設けております。奮ってご参加ください。

### ■ 患者の声協議会 第44回勉強会

診療・介護報酬ダブル改定は、こうなった

～大改革のツボを、患者・住民のために徹底解説～

■ 日時：2018年3月24日（土）13:30～16:00

■ 会場：中野サンプラザ7階研修室（添付地図を参照）

### ■ プログラム

◎演者1 佐藤敏信さん

久留米大学教授、元厚生労働省保険局医療課長

「(2010年度担当者が語る) 診療報酬改定の舞台裏」

◎演者2 庄子育子さん

元日経BP社医療局編集委員／日経ビジネス編集委員

「(診療報酬20年ウォッチャーから見た) 今回ダブル改定の意義」

◎演者と参加者による質疑応答とディスカッション

「患者・住民は、診療報酬・介護報酬に、どのように関心をもつべきか」

■ 講師へのご質問の事前受付

参加を予定している方で、講師へのご質問のある方は、下記より入力してください。いただいた質問を演者にお渡しし、適宜お答えいただくように依頼いたします。ただし、時間やテーマの範囲等の制約で、すべてのご質問にお答えできるとは限りませんので、あらかじめご理解・ご了解をお願いいたします。

○質問サイト（入力〆切 3月23日18時）

[https://jp.surveymonkey.com/r/fee\\_revision](https://jp.surveymonkey.com/r/fee_revision)

■参加費：資料代として

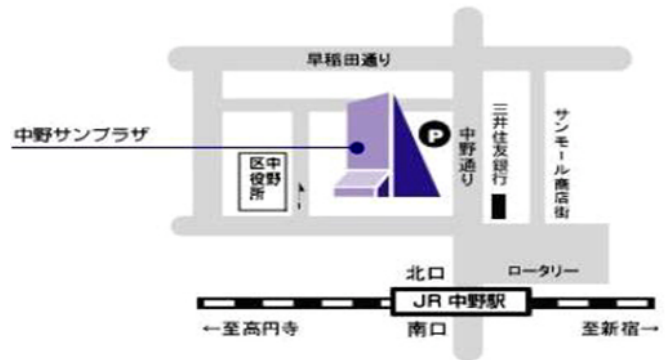
会員・賛助会員 500 円、一般 1000 円。

（当日、受付でお支払いください）

■会場地図：東京都中野区中野 4-1-1

JR中野駅、地下鉄東西線の中野駅

北口より徒歩5分



■参加申込：

<https://jp.surveymonkey.com/r/kanjanokoe44> からご入力下さい。

もしくは、

kanjanokoe@gmail.com あて、

メールで3月18日(日)までにお申し込みください。

※ メールでのお申込には以下をご記載ください。

患者の声協議会の第44回勉強会に参加を申し込みます

団体名： \_\_\_\_\_

ご芳名： \_\_\_\_\_

役職： \_\_\_\_\_

連絡先： \_\_\_\_\_

会員種別：     正会員     個人賛助会員     団体賛助会員     一般